

Professional Diver



申請者記入欄

更新書

フリガナ _____ 生年月日 _____
氏名 _____ 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日
〒 _____ 住所 _____ 所属事業者 _____

.....同意書.....

私こと _____ は、Professional Diver認証にあたり、下記の内容に同意します。

- 1 SDO認証制度に関わる関係機関への情報共有
- 2 (一財)沖縄マリトレジャーセイフティービューロー関連事業者による情報公開
- 3 SDO認証制度に反した事により、除名されたとしても、異議は一切申し立てません

西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 署名 _____ (印)

.....誓約書.....

私は、下記1及び2のいずれにも該当しません。また、将来においても該当する事はありません。
この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなって
も、異議は一切申し立てません。
これらの提出書類から確認できる範囲での個人情報を警察に提供することについて同意します。

1 誓約の相手として不適当な者

(1) 法人等(個人、法人又は団体をいう。)の役員等(個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所(常時契約を締結する事務所をいう。)の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。)が、暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)又は暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)であるとき

(2) 各号に該当するもの(以下「反社会勢力」という。)であることが判明した場合

- | | |
|------------|--------------|
| ① 暴力団準構成員 | ④ 社会運動等標ぼうゴロ |
| ② 暴力団関係者企業 | ⑤ 特殊知能暴力団 |
| ③ 総会屋等 | ⑥ その他前項に準ずる者 |

2 誓約の相手方として不適当な行為をする者

- (1) 暴力的な要求行為をする者
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
- (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、また暴力を用いる行為を行う者
- (4) 風説を流布し、偽計また威力を用いて信用を破棄し、業務を妨害する行為
- (5) 反社会勢力に対し資金を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしている者
- (6) その他前号に準ずる者

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日
住所 _____ 署名 _____ 印 _____

※添付書類 賠償責任保険の写し